

町長日誌 No.206



町長日誌の第 206 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

12月10日(木) AM 10:00

今朝は少ししばれが和らぎましたが8、9日と結構な冷え込みでした。それにしても今年も雪が少ないですね。11月10日に除雪車が全線出動して以来出動がありません。昨年よりは雪が多いかと思っていたのですがそうでもないようです。明日は、定例議会が開催され一般会計に約1億円を追加した予算案を提案します。これはふるさと応援寄付金が増えていて基金に4600万円の他、必要経費などを追加するものです。お隣の紋別市に比べるとまだまだですが今年は沙留漁協の協力と観光協会のPRのお陰で、多くの皆様からの応援を頂いています。本当に感謝です。ありがとうございます。

12月2日(水)

昨年、環境省の補助事業を受け近隣6市町村で「循環共生圏構築」の取り組みを行いバイオガス発電の可能性や電力消費量などの調査を行いました。6市町村は「今年も継続して行いたい」と言う希望が強く事業申請していたところ、今年も認定になり1回目の会議を開きました。北大や帯広畜大、道庁、北電など多くの関係機関はコロナ禍でもありウェブでのご参加を頂きました。この中の取り組みの一つに「EV車」の活用実験があります。今回の事業には日産自動車もご協力を頂き「EV車リーフ」を3ヶ月無償でお貸しいただくことになりました。このEV車を使い厳冬期の走行実験（例えば札幌まで行くなど）、避難所の電源としてリーフ1台で何時間対応できるか？ などの実験を行います。実は日産

自動車としても厳冬期で災害時等の実用実験はあまりデータが無いとのことで、是非活用してほしいということなのです。総理が2050年までにCO₂排出をゼロにすると言いましたが、これは国際的にはかなり遅いことで、すでに10年単位での計画を策定している国が多いのです。今後の自動車においては電気自動車（EV）と水素自動車（FCV）の二つの流れがあり、いずれにしてもガソリンや軽油を使わない時代が後10年程で到来する可能性は大きいのです。

12月4日(金)

2日に日産自動車からEV（電気自動車）車「リーフ」が届きましたので、早速試運転をさせていただきました。役場から北興のバイオガスプラントの往復でした。リーフは前輪駆動（FF）車です。私はEV車の運転は初めてでしたがとても走行がスムーズで、北興ではアイスバーンでしたが装備されているEペダル（アクセルを離すと自動ブレーキが利くシステム）によりスリップしないのです。しかも加速はスカイライン並みと言うだけあってなかなかのものでした。床に電池が敷き詰められているためか安定間は抜群でした。充電のための200Vのコンセントは必要ですが、エンジンが無い（直接モーターで車軸を回している）のでオイル交換は不要ですし、ブレーキパットの交換も無いなど車検費用はかなり安価になるようですが、未だ購入価格は高いようです。しかし、予想以上の乗り心地でした。キムタクではありませんが思わず「やっちゃんえ！○○」と呟いてしまいました。

さて、この日誌が届くころには皆様お揃いで新年をお迎えのことと思います。令和2年は本当に大変な年でしたが、皆様のお陰で大過なく終えることが出来ましたことに感謝申し上げます。来るべき年もどうかよろしくお祈りします。

何時ものことですが、新年のご挨拶は広報にて代えさせていただきますのでご理解ください。どうか、皆様良いお年を!! では、また来年。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

